

○ バードウォッチング～きれいな羽になった鴨を見よう～

記 M

- 日時：2020年12月6日（日） 9：30～ 12：20 天気 晴れ
- リーダー：M、N ききみみメンバー：3名 特別ゲスト：K氏
- 参加者数：大人 11名 子供 3名 対象者：小学生以上
- ねらい：飛来当初は雄も雌も地味な色合いでしたが12月には雄は繁殖羽（夏羽）に変わって鮮やかになる。
- 活動場所：センター 芝生広場 湖岸沿い ダム湖東岸 ヤンマ池
- 活動内容：山の鳥（冬鳥を中心に）や水辺の鳥（カモ、カイツブリ）の観察

時間・場所	内 容
9：30 ベランダ	・スタッフの紹介 特別ゲストK氏の紹介 ・コース説明 朝に芝生広場でマヒワを見たので、そこから湖岸沿いに行くと言明。 ・カモ類の説明 雄の羽色で10種類以上の鴨が見られる場所は一級地である等。
9：50 芝生広場	・ネイチャーセンター出発。さっそく芝生広場でマヒワの小群を見る。 ・ヤマモモの木の上部にいるジョウビタキ雌を発見。葉を落とした木やベンチ回りの見やすい場所を次々と移動し、全員がしっかり観察する。
10：10 チョウの庭	・冬の混群（エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、コゲラ）が通路近辺の低い位置に数多く飛び交い、見ごたえがあった。この群れは我々の前方を道案内するが如く東屋まで見られた。東屋から少し進んだ山側でUさんがツグミを発見。同時にシロハラの雄も見られた。
10：30 ダム湖東岸	・今年はカモ類の数が少ないが6種類を確認する。水面の広い所ではホシハジロとキンクロハジロ及びカイツブリ3種、対岸の木の下にマガモ、カルガモ、ヨシガモ、一番東にコガモ。距離があるので望遠鏡が大活躍。 カムリカイツブリ、ハジロカイツブリの目が赤いのが皆様の印象に残った様だ。 19番手前で再度マヒワ発見。19番通路の北側でクロジ声のみ（K氏）
11：10 ヤンマ池	・カワセミを探したがいなかった。他にも何も出なかったので、小休止後一直線でセンターに戻る。
11：45	・センターに到着後、鳥合わせ。ベランダから湖対岸のカワアイサを確認。
12：00	・アンケート回収 次回予定通知 解散

7. ふりかえり

- ・ヨシガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、カワアイサ、カイツブリ、カムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、コゲラ、サンショウクイ（亜種リュウキュウサンショウクイ）ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、カワラヒワ、マヒワ、クロジ（26種）
- ・今回は、カモ類カイツブリ類を望遠鏡の助けを借りて細部まで確認出来た。
- ・山野の冬鳥もマヒワ、ジョウビタキ、ツグミ、シロハラ等出て皆様満足の様子だった。

8. リーダーの感想

- ・特別ゲストとしてK氏に参加して頂き音声の確認、音質の違い、出現の可能性等々、丁寧に説明して頂き大変感謝しております。機会があれば又お願いしたいと思います。

9. その他（資材・配慮など）

- ・フィールドスコープの用意。